

# 民児協いばらき

☆民生委員・児童委員徽章は、幸せのクローバーに「み」の文字と双葉で鳩をかたどり愛情と奉仕を表しています。

2019年(令和元年)6月15日 第83号



神栖市の工場夜景

(神栖市提供)

## 目次

- 会長新年度あいさつ…………… 2
- 県保健福祉部福祉担当部長あいさつ…………… 2
- 全国民生委員指導者研修会に参加して… 3
- 全国児童委員研究協議会に参加して… 3
- 平成31年度(令和元年度)事業計画書
  - ・ 収支予算書…………… 4
- 平成30年度事業報告書・収支決算書(計算書類等) …… 5
- 地区民児協だより
  - ・ 北茨城市…………… 6
  - ・ 小美玉市…………… 6
  - ・ 牛久市…………… 7
  - ・ 常総市…………… 7
- 事務局だより…………… 8
- 編集後記…………… 8

支えあう 住みよい社会 地域から

## 新年度あいさつ



県民児協会長 竹内 昌信

新たな年度を迎え、皆様が地域の福祉支援に活躍されておられることに対して、改めて敬意と感謝を申し上げます。

本年は「平成」の世に幕を閉じ、「令和」の新元号に移りました。「平成」の31年間は、元年に発生した三陸沖地震以来、阪神淡路大震災・東日本大震災、さらに異常気象による豪雪・豪雨被害・山崩れ・河川決壊・台風など自然災害が全国に多くの爪痕を残しました。今も災害の傷跡が残り、人々の心も癒えず、住み慣れた生活の地に戻ることもかなわず、苦しみ悩む住民が多数おります。

「令和」という新たな元号に多くの人は「穏やかな自然に生まれ人びとの和のところが通い合う」の思いに、大きな期待を抱いていることと思います。

そこで、私たち民生委員・児童

委員の福祉活動の歴史も103年が過ぎ、今後の民生委員・児童委員が、地域に対しどのような支援を行うか見極め、併せて委員活動自らの環境も含めて検討し、総合的な活動方針の転換が求められております。

今後、県民児協として過去のトップダウンから未来に向けたボトムアップへの具体的施策を、地域の委員皆様の意見を基に検討してまいります。

今年、一斉改選の年となります。民生委員・児童委員を任命されて以後、皆様は定例会・各種研修会参加、地域の人々との交流など多くの経験を通して「喜びと感動」の実感が必ずあると思います。その喜びを今後も永く継続していただけますことをご期待申し上げます。ご挨拶いたします。

## 「安心して暮らせる地域社会」を目指して



茨城県保健福祉部福祉担当部長 関 清一

初夏の候、民生委員・児童委員の皆様方におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

「令和」へと元号が変わりましたが、今年皆様方におかれまして、3年に一度の一斉改選という、大きな節目となる年でございます。

さて、近年、急速な人口減少や少子高齢化の進行、家族や地域社会のつながりの希薄化など、地域社会を取り巻く環境が変化し、子どもの貧困やひきこもりといった課題が顕在化しております。

このような状況のもと、県では、平成30年11月に、新たな県政運営の指針となる「茨城県総合計画」『新しい茨城』への挑戦』を策定いたしました。続いて今年4月には、その部門別計画としての性格を持つ、「茨城県地域福祉支援計画(第4期)」

をスタートさせたところです。「地域に暮らす一人ひとりが地域の担い手として、ともに支え合い助け合い、安心して暮らせる地域社会づくり」を基本目標に、新たに、生活困窮者自立支援対策の強化、子どもの貧困やひきこもりへの対応といった、地域の中で孤立した世帯への対策などを追加しております。

本計画の推進に当たりましては、関係機関や関係団体との密接な連携のもと、地域に暮らし、地域の担い手として、安心して暮らせる社会づくりに日々取り組まれている民生委員・児童委員の皆様方からのお力添えが不可欠でございます。

皆様方には、さらなる地域福祉の向上の担い手として、より一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。御挨拶いたします。



# 全国民生委員指導者研修会

## 「第28回全国民生委員大学」に参加して

県民児協理事 黒田伸治

去る2月13日～15日、神奈川県葉山町の研修施設「ロフォス湘南」に全国から124名が集まり、本県からは安正機副会長と黒田が参加しました。

初日は次の通り行政説明等がありました。

(1)「地域福祉の動向と民生委員」と題して厚生労働省の地域福祉専門官から行政説明がありました。

(2)「100周年活動強化方策と地域版活動強化方策」と題して全社協民生部長から基調報告がありました。

(3)「人権課題の動向と基本的人権」と題して東京都人権啓発センター講師から説明がありました。

2日目と3日目はケース研究でした。

ルーテル大学学長の市川一宏氏を講師として、124人を21グループに分けて、6人平均で語り合いました。

そして司会と発表者を決めて進められました。発表は次のケース毎に4グループ程度でし

た。

①民生委員・児童委員のなり手確保について

②民生委員活動の活性化策について

③民生委員として課題ごとのつなぎ先について

④民生委員の確保、新人の教育、関係専門職に関する県との連携について

以上、専門家の説明を聞くと共に、熱く議論して次の民生委員活動に活かす事を誓い合いました。



# 全国児童委員研究協議会に参加して

県民児協評議員 村田昌

子どもや子育て家庭をめぐる諸課題について理解を深めるとともに各地の民児協における取り組みの情報交換をもとに、児童委員活動の一層の充実を図ることを目的とし、去る、1月22

日、新横浜プリンスホテルにおいて、全国から260名が参加され開催されました。

本県からは、村田外3名が参加いたしました。

はじめに、「児童委員、主任児童委員と子ども子育て支援の取組等について」厚生労働省子育て支援課依田専門官より行政説明を受けました。

続いて、明治学院大学学長の松原康雄氏より「子育て、子育てを応援する地域づくりを目指して」と題し講義があり、すべての活動は地域との「協働」と関係機関とのネットワーク、民児協内部の連携が重要と強調されました。

その後、シンポジウムがあり、「地域の子育て応援団」をめざ

して、2地区民児協の代表が発表を行いました。

2日目は、分科会で4つのグループに分かれてそれぞれに研

磨しました。私は、第4分科会に参加し、講義、発表、話し合いの形で研修が進められました。

今回の研究会は、何れも内容が濃く全国の仲間との情報交換も活発にできるなど有意義な協議会でした。



# 平成31年度(令和元年度) 事業計画書・収支予算書

## 1 運営方針

今日、個人や世帯を取り巻く環境が大きく変化し、地域においては人と人とのつながりが希薄するなか、社会的孤立、貧困、虐待、ひきこもり等住民の抱える課題は複雑・多様化し、地域においてはさまざまな支援を必要とする人が増加しています。

さらに、自然災害が相次いでおり、地域における住民同士の支え合いの仕組みづくりが重要性を増すなかにあって、民生委員・児童委員への期待は一層大きなものとなっています。

私たち民生委員・児童委員は、その力を合わせ、誰もが笑顔で、安全に、安心して暮らせる社会づくりへの取り組みを進めて行くことが期待されています。

そのため、今年度は活動スローガン「支え合う 住みよい社会 地域から」並びに、「民生委員制度創設100周年活動強化方策」及び「児童委員制度創設70周年 全国児童委員活動強化推進方策2017」の具体化に向けて、検討を進めていきます。

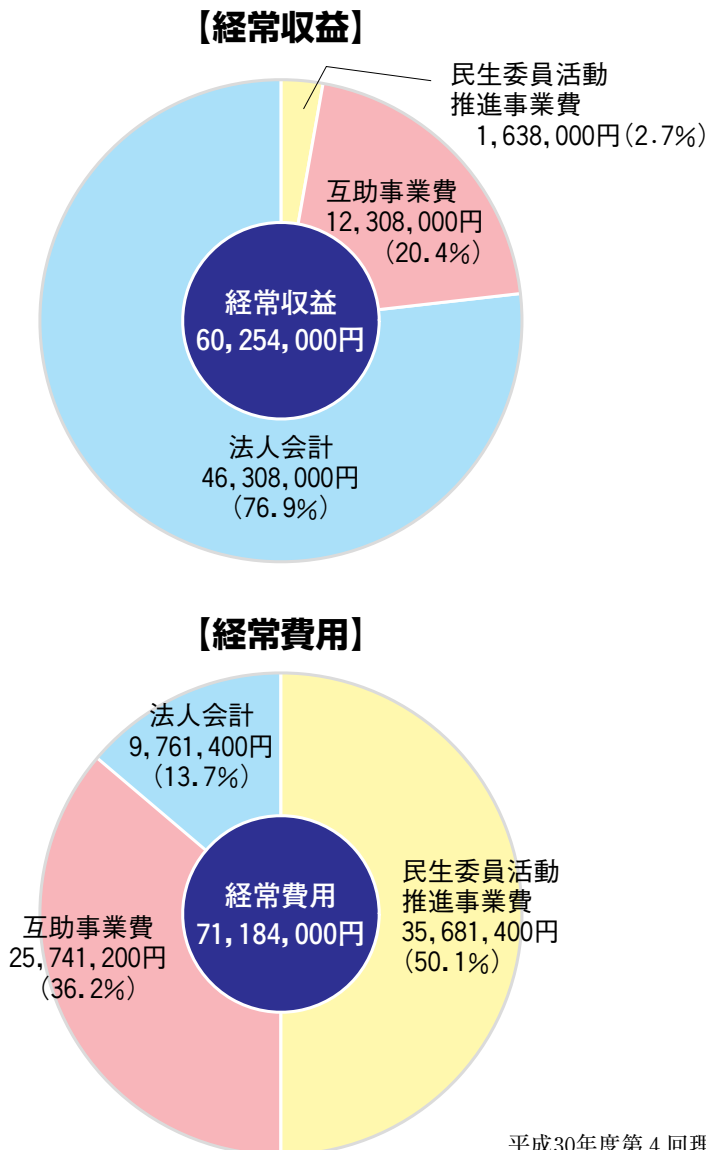
また、今年度は一斉改選の年になります。民生委員・児童委員制度やその活動を広く社会に周知するとともに、全民児連との連携・協働を通じ、日常的な見守り活動等を通して、これからも地域に密着した活動を進め、地域福祉の向上に貢献していきます。

## 2 重点目標

- (1) 地域の実情を把握し、支援を必要とするあらゆる人びとが孤立することがないように訪問や見守り、相談活動の推進
- (2) 虐待やいじめ、体罰、犯罪被害、貧困の連鎖などから子どもたちを守り、健やかな成長を支えるための取り組みの推進
- (3) 住民の多様な生活課題に対応するため、地域の幅広い関係者との連携とともに、住民同士のつながりを強め、支え合い、助けあうことができるまちづくりの推進
- (4) 一斉改選時における新旧委員間の円滑な引き継ぎと新任委員への情報提供等による支援の推進

## 平成31年度(令和元年度)正味財産増減計算書

## 月別事業計画



事項 月	県民児協
4	・民児協いばらき83号編集委員会 ・正副会長及び総務委員合同会議 ・主任児童委員連絡会委員長会議
5	・監事会 ・理事会 ・民児協いばらき83号編集委員会 ・児童福祉部会 ・主任児童委員連絡会委員長会議 ・評議員会
6	・互助事業運営委員会 ・民児協いばらき83号編集委員会 ・民児協いばらき83号発行(15日) ・市町村民生委員児童委員協議会 会長・副会長合同研究協議会 県北・県央・鹿行地域(20~21日大洗町) 県南・県西地域(27~28日大洗町)
7	・主任児童委員連絡会委員長会議 ・主任児童委員研修会(26日水戸市) ・正副会長及び総務委員合同会議
8	・民生委員児童委員全体研修会(28日水戸市)
9	・互助事業運営委員会 ・理事会 ・市町村民生委員児童委員教室 県北・県央・鹿行地域(12~13日大洗町) 県南・県西地域(26~27日大洗町)
10	・民児協いばらき84号編集委員会 ・第38回茨城県民生委員児童委員大会(31日水戸市)
11	・民児協いばらき84号編集委員会 ・主任児童委員連絡会委員長会議 ・互助事業運営委員会
12	・民児協いばらき84号編集委員会 ・正副会長及び総務委員合同会議 ・正副会長会議
1	・正副会長会議 ・民児協いばらき84号発行(15日)
2	・理事会 ・評議員会 ・主任児童委員連絡会常任委員会 ・正副会長会議 ・正副会長及び総務委員合同会議
3	・互助事業運営委員会 ・理事会 ・評議員会

平成30年度第4回理事会(3月11日)及び第2回評議員会(3月28日)において、平成31年度事業計画書及び収支予算書が承認されました。

# 平成30年度 事業報告書・収支決算書 (計算書類等)

## 事業報告

### 1 協議会の運営

- 理事会 (4回)
- 監事会 (1回)
- 評議員会 (2回)
- 正副会長会議 (7回)
- 部会、専門委員会
  - ・総務委員会 (4回)
  - ・編集委員会 (8回)
  - ・児童福祉部会 (2回)
  - ・主任児童委員連絡会委員長会議 (4回)
  - ・互助事業運営委員会 (4回)

### 2 研究協議会等の開催

- 市町村民生委員児童委員協議会  
会長・副会長合同研究協議会 (2会場)
- 市町村民生委員児童委員教室 (2会場)
- 民生委員児童委員全体研修会 (1会場)
- 主任児童委員研修会 (1会場)

### 3 全国会議等への参加

- 全国民生委員指導者研修会(第28回民生委員大学)
- 民生委員・児童委員リーダー研修会
- 全国主任児童委員研修会

- 全国児童委員研究協議会
- 民生委員・児童委員のための相談技法研修会
- 第87回全国民生委員児童委員大会
- 関東ブロック民生委員児童委員活動研究協議会
- 都道府県・指定都市民生委員児童委員協議会事務局会議

### 4 市町村民生委員活動の推進

- 指定民児協
  - ・大子町民生委員児童委員協議会
  - ・阿見町民生委員児童委員協議会
  - ・笠間市友部地区民生委員児童委員協議会
  - ・常総市水海道地区民生委員児童委員協議会

### 5 茨城県民生委員児童委員大会

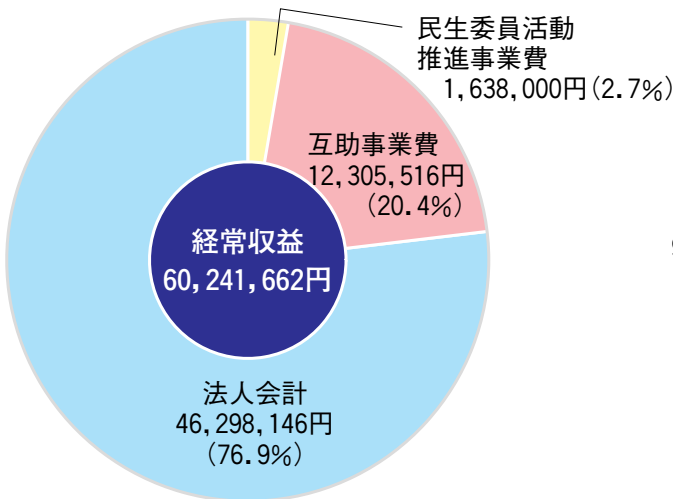
- 第37回茨城県民生委員児童委員大会 (1会場)

### 6 その他の主な事業

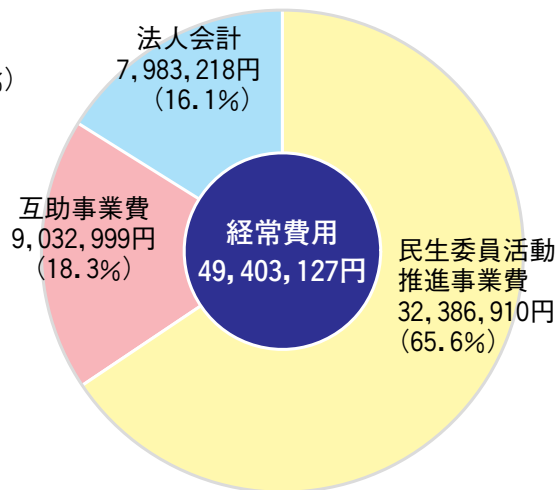
- 「民生委員児童委員の日活動強化週間」の取り組み強化 (5月12日～18日)
- 情報の提供
  - ・民児協いばらきの発行 (2回)
- 互助事業の実施
  - ・全国民生委員児童委員互助事業及び県互助事業の実施

## 平成30年度正味財産増減計算書

### 【経常収益】



### 【経常費用】



平成31年度第1回理事会 (5月14日) 及び第1回評議員会 (5月30日) において、平成30年度の事業報告書及び収支決算書 (計算書類等) が承認されました。



# 協 だ よ り

## 北茨城市

### 北茨城市南部地区民児協の活動について

北茨城市南部地区民児協協会長 小田桐武英

北茨城市南部地区民児協は、人口4万2千人のうち約7割の人口を占める区域を担当し、54名(うち主任児童委員3名)の委員で活動しています。

本市の高齢化率は33・4%に達している中で、高齢を理由に自治会や常会を退会する方も多く、地域の結びつきが弱体化することが危惧されています。

このようなことから、現状に即した活動の視点を改めて確認することを目的に、委員が直面する具体的事例を挙げて、それに対する行政の対応方法例を参考にして、知見と活動を深める研修を昨年度北部地区と合同で開催し、活発で忌憚のない意見交換を行いました。北茨城市では、子どもから高齢者まで、あらゆる事項に相談対応ができる「北茨城市コミュニティケア総合センター(通称・元氣ステーション)」を設置し、夜7時まで対応しています。ここでは、民生委員・自治会・関係機関との連携など、地域との協働に努めています。

この一例として、高齢化率が50%に達する団地において、自治会と担当の民生委員児童委員との共催による住民の集いを、元氣ステーションの支援を受けて定期的に開催しています。平成31年3月には、介護保険を通じて住民の人生や生活、町のあり方についての住民集会を開催、高齢者を中心に多くの住民が集まり好評を博しました。

南部地区民児協は、高齢者や子どもたちをはじめとした地域住民との絆を大切にしながら、身近な存在として頼られる存在となるよう努めていきたいと思っています。



## 小美玉市

### 小美玉市玉里民児協活動について

小美玉市玉里民児協協会長 石橋 吉生

小川町・美野里町・玉里村が合併し小美玉市になり(平成18年3月)これに伴い三つの民児協も連合協議会となりました。玉里地区は16名(うち主任児童委員2名)で活動しています。高齢化率では市が28・2%。玉里地区は30・4%と高くひとり暮らしの高齢者も多く、見守りなど訪問活動では、ひとり平均10名、多い委員で20名を担当しています。

私たちは一人ひとりの日常の相談、見守り活動以外に、全員一斉に社会福祉協議会(以下社協)の歳末たすけあい事業(一人暮らし高齢者おせち料理配食)に協力し、ひとり暮らし高齢者へ福祉員のご協力を得ながら届けています。掛け紙については、地域の小学生が描いたカラーイラストがあり、お年寄りに喜んで頂いています。その他社協の実施する「福祉につこりまつり」「一人暮らし高齢者交流会及び高齢世帯交流会」「赤い羽根共同募金」活動など連携を密に活動しています。

毎月の定例会では、日常の様々な活動のなかで解決しなければならぬ事に直面しているとき、その問題を提起してもらいます。ひとりで悩まず委員全員の事として、知恵を出し合い解決のための協力体制を取っています。

今後高齢化は進む一方、貧困家庭、子どもの問題など行政にも手の届かないところで、民生委員・児童委員に課せられる問題が発生することは、避けられなくなるでしょう。地域の中で信頼される相談相手になれるよう役目を担っていききたいと思っています。



# 地 区 民 児

## 牛久市

### 牛久市民児協活動について

牛久市民児協会長 谷本 敦史

牛久市民児協は、民生委員・児童委員123名(うち主任児童委員8名)で構成され、小学校区単位の8つの部会に分かれて活動しています。

現在、市の人口は、8万5千人余で65歳以上の高齢者は2万3千800人を超え、高齢化率は28%に達しています。8つの小学校区のうち6地区は30%を超えている一方、ひたち野うしく駅周辺の2地区は小学校・中学校が新設されるなど、人口急増中の若い地区もあります。

このような多様な状況の中で、部会ごとに必要に応じて関係機関と情報交換会を開き、打ち合わせしながら見守りを行っています。普段の見守り活動に加え、地区社協や行政区と連携して、近隣の方々との複数の目で見守る体制づくりを進めたり、高齢者対象のボランティア移送サービス導入について市と地区社協との橋渡しをするなどの個々の見守り活動にとどまらない活動を展開している部会もあります。

さらに、民生委員・児童委員活動には、市民の認知と理解が欠かせないことから、市の行事である「うしく・鯉まつり」や「みんなのしあわせ見本市」「うしくかつぱ祭り踊りパレード」などに参加し、PRに努めています。

これからも、課題を抱えながらも助けを求める「声を出せない・出さない」人々や、深刻化する「子供の貧困」への対応など、市民が安心して生活できるよう取り組んでいきたいと考えています。



## 常総市

### 常総市水海道地区民児協活動について

常総市水海道地区民児協会長 中山美代子

常総市民児協は、水海道地区と石下地区の2地区において活動しており、水海道地区は68名(うち主任児童委員2名)の委員で構成されています。

常総市では、平成27年の豪雨災害の経験を踏まえて、最近の定例会や研修等の内容には、市の防災担当部署が進めている「マイタイムライン」の講話や防災科学研究所での視察研修等、災害に対する知識の習得や意識の高揚を図る内容が多くなっております。

そういった意識の高まりもあり、委員のなかには、地域が自主的に開催する防災訓練において積極的に役割を担う方も出てきているところ です。

また、例年、活動強化週間の取り組みとして「救急医療情報キット」の配布を行っております。以前は、要援護者の調査として行っておりましたが、現在は、民児協独自の取り組みとして継続しており、地域における要支援者の把握やその後の見守りなど個々の活動に役立てるだけでなく、市の避難行動要支援者名簿の補足資料としても使用しているとのこと です。

今後、いつ起こるかかわからない災害に備え、関係機関と連携を深めるとともに、日頃から地域において見守りや訪問等の活動を地道に重ねてまいりたいと考えております。





# 事務局だより

## 祝受賞

この度、次の方が栄えある叙勲・褒章を受けられました。心からお祝い申し上げます。(敬称略)

○叙勲  
瑞宝単光章

竹内 昌信 (小美玉市)

○褒章  
藍綬褒章

田之室 光子 (土浦市)

## 役員紹介

令和元年5月の定時評議員会において、評議員の補充選任があり、次の方々が選任されました。

### 評議員

〔牛久市〕谷本 敦史

〔潮来市〕荒原 茂

### 県保健福祉部の主な組織改正

民生委員・児童委員関係

(平成31年4月1日)

健康・地域ケア推進課

(旧地域ケア推進課)

長寿福祉推進課

(旧健康長寿福祉課)

### 県保健福祉部の人事異動

民生委員・児童委員関係

(平成31年4月1日) (敬称略)

福祉担当部長 関 清一 (留任)

次長兼医療局長 吉添 裕明 (留任)

次 長 國松 永稔 (新任)

子ども政策局長 海老原 淳 (新任)

厚生総務課長 杉山 順彦 (新任)

健康・地域ケア推進課長

栗田 仁子 (新任)

福祉指導課長 柴 義則 (留任)

長寿福祉推進課長

森田 達也 (新任)

障害福祉課長 前川 吉秀 (新任)

青少年家庭課長 下山田義弘 (留任)

福祉相談センター長

照井 康郎 (新任)

中央児童相談所長

岡田 崇弘 (留任)

土浦児童相談所長

高橋 活夫 (留任)

筑西児童相談所長

後藤 幸夫 (新任)

### お知らせ

令和元年度県民児協主催の

研修会及び県大会予定

○市町村民生委員児童委員協議会

会長・副会長合同研修協議会

〔県北・県央・鹿行地域〕

6月20日(木)～21日(金)

大洗シーサイドホテル

〔県南・県西地域〕

6月27日(木)～28日(金)

大洗シーサイドホテル

○市町村民生委員児童委員教室

〔県北・県央・鹿行地域〕

9月12日(木)～13日(金)

大洗シーサイドホテル

〔県南・県西地域〕

9月26日(木)～27日(金)

大洗シーサイドホテル

○主任児童委員研修会

〔県内全域〕

7月26日(金)

ザ・ヒロサワ・シティ会館

(県民文化センター)

小ホール

○民生委員児童委員全体研修会

〔県内全域〕

8月28日(水)

ザ・ヒロサワ・シティ会館

(県民文化センター)

大ホール

○第38回茨城県民生委員児童委員大会

10月31日(木)

ザ・ヒロサワ・シティ会館

(県民文化センター)

大ホール

※県民文化センターの通称が

「平成31年4月1日から」ザ・

ヒロサワ・シティ会館」にな

りました。

※主任児童委員研修会の会場が

今年度から変更になったこと

にご留意ください。

## 編集後記

平成から令和へと元号が移り、新たな時代の幕開けとなりました。私、平成29年に編集委員の委嘱を受け、経験豊富な委員の皆様との出会い、毎回和やかな雰囲気の中での情報交換や雑談を交えながらの活動私にとっては楽しみの時間となっております。そんな中に、民生委員としてのあるべき姿や、課題解決の糸口を見出すことができたり、多くの事を学ばせていただいたりしております。正に出会いに感謝です。

この世に生まれ、先ず親との出会い、そして多くの方々、自然、動物と、だからこそ今の自分があるものと感じております。

わが人生70余年、「ふりむけば、おかげを受けし、人ばかり」唯々感謝です。

これからは、この感謝の念を忘れず、自分ができることを、できる範囲で、精一杯の活動を心がけていきたいと思っております。

編集委員 坂野 徹

### 発行人

一般財団法人  
茨城県民生委員児童委員協議会  
会長 竹内 昌信

〒310-0851

水戸市千波町1918

茨城県総合福祉会館内

TEL 029-243-5361

FAX 029-243-5902

URL: <http://www.ibaraki-minjikyo.or.jp>

E-mail: [iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp](mailto:iba-minjikyo@bz01.plala.or.jp)